

TAKAO



ハチンゴCR
弾球黙示録

カインジ

初回3

製品説明資料

まさに

沼。

玉喰い
モンスター
出現っ……!

カイジに「悪魔」と言わせた「沼」。
この上ないスリルと興奮が襲い掛かる、まさに「人喰い沼」。
それと呼ぶに相応しいスペック、演出、ゲージを持ち合わせた「圧倒的な沼」が、対に現実の世界へ出現。

■ スペック

REAL沼SPEC

初回大当たり時、51.5%の確率で
確変(内、沼RUSHは37.5%)
へと突入。

ひとたび
沼RUSHへ
突入となれば、
あとは**16R+**
沼RUSH大当り
のみ。

天か地か。
カイズ沼の
至福&
恐怖を
リアル
に感じる
仕様。



■ 演出



ALL沼リーチ

リーチは全て、「玉が穴に入るか否か」。
全てが沼のリーチとなる。

シンプルながらも、豊富なチャンスアップパターンによる組み合わせは無限大。
打ち込めば打ち込むほど、そのシンプルさがクセになる。

また、シリーズ初登場となる**実写の沼リーチ**が出現。

本機のために制作した怪物マシン“沼”で、何千パターンも撮影した中から、選りすぐりの数本をリーチに起用。

必殺技出現も見逃せない。

■ 右打ち

玉喰い沼ゲージ

盤面右下のアタッカーと電チューの上には、そこに玉が吸い込まれるように設計されたゲージが存在。

右打ちされた玉はそのほとんどが、アタッカーと電チューに向かう“玉喰い沼”状態となる。

前代未聞のゲージに玉が喰われるその様は、快感そのもの。

そのゲージに加えてアタッカー両サイドに付けられたガードで、その力はより強固なものとなる。

「逃しませんアタッカー」

「零アタッカー」

「ぷるるんアタッカー」

に続く、高尾の右打ちへの挑戦。

ぱちんこを打つ上で一番幸福感を得られる右打ちを、より一層心地よくできるように追求していく。



シリーズ実績

CR弾球黙示録カイジシリーズ メインスペック実績

※弊社調べ



2007年CR弾球黙示録カイジ
12週 約¥790,000-



2009年CR弾球黙示録カイジ沼
12週 約¥840,000-



2011年CR弾球黙示録カイジ2
9週 約710,000-



2013年CR弾球黙示録カイジ沼2
6週 約490,000-



2015年CR弾球黙示録カイジ3
総合16週 約¥650,000-

2007年発売の「CR弾球黙示録カイジ」を皮切りに、安定した実績で愛されてきたカイジシリーズ。メインスペックだけでも上記の動きを見せてきたが、これに**甘**などの追加スペックが加わるとその**安心感**は**圧倒的**なものとなる。

今作では、上記の歴代シリーズ機で登場した「沼リーチ」を搭載。昔からのシリーズ機ファンも、新たなファンも嬉しくなれるよう、演出展開や映像周りの新要素も充実。

■ スペック詳細



CR弾球黙示録カインズ沼3
利根川Ver.

大当り確率

低確率
1/319.9

高確率
1/59.5

確変比率
51.5%

沼RUSH継続率
※時短含む
約 65%

時短回数
0 or 100 回

最大出玉
2,240 個

ラウンド 4 or 16

カウント 10

賞球 4 & 1 & 4 & 3 & 14

出玉 560 or 2240 個

特図1



特図2



■ ゲームフロー

